

おねうち
花の木寄席

桂九雀とシンデイの 吹奏楽落語「芝浜」

9月9日は九雀の日! 落語と吹奏楽の奇想天外なコラボレーションが再び!
2017年に大好評いただいた「忠臣蔵」に続く吹奏楽落語の第2弾。今年は「芝浜」です。



作曲
清水大輔



落語
桂九雀



女房役
須原麻衣

(名古屋プロダクション)

お囃子(挺・高橋まき、岡野鏡)

「吹奏楽落語・芝浜」

桂九雀

セントシンデイアンサンプル

須原麻衣

「演奏」
セントシンデイアンサンプル

桂九雀

桂九寿玉

「落語」
桂九寿玉

指揮
福島秀行



令和5年

9月9日[土] 14:00開演 (13:30開場)

TEL:052-523-0080 FAX:052-523-0081

交通アクセス 地下鉄鶴舞線「浄心」4番出口を南へ徒歩3分
公共交通機関をご利用ください。

〈全席指定〉
一般 3,000円
※未就学児入場不可

友の会(前売りのみ) 障がい者手帳等割引 2,700円(※)

※事業団友の会および障がい者等の方は、購入時に会員登録、障がい者手帳等をご提示ください。
※障がい者の方は、ご本人と付添1人まで割引料金でお求めいただけます。
※取り扱いには事業団チケットガイドと事業団の管理運営施設窓口のみ。
※他の割引と併用はできません。

チケット取り扱い

名古屋市西文化小劇場

名古屋市西区花の木二丁目18番23号
[西図書館と併設、西区役所に隣接]

チケット発売日:6月28日(水)9:00~

◆西文化小劇場 TEL:052-523-0080

(9:00~20:00)※日曜・祝日は17:00まで。

休:月曜日(月曜が祝休日の時はその直後の休日でない日)

◆名古屋市文化振興事業団チケットガイド

TEL:052-249-9387

(平日9:00~17:00)

※チケット郵送可。※郵送の場合手数料等が必要になります。

◆名古屋市文化振興事業団が管理運営する文化施設窓口

[土日祝日も営業]でもお求めいただけます。

※工事休館などがありますので、ホームページでご確認ください。

◆チケットぴあ[Pコード:520-486]

春日井の黒あめは、
おねうち花の木寄席を



「黒あめの日」

9(く)、6(ろ)との語呂合わせにちなみ
黒あめをより身近に感じてもらえるようにと
9月6日を「黒あめの日」として日本記念日
協会に登録・制定しました。

春日井製菓株式会社

〒451-0062 愛知県名古屋市西区花の木1-3-14

主催 公益財団法人 名古屋市文化振興事業団 [西文化小劇場]

協力 烏なぎ・和食 しろ河、御菓子司 清光園菓子舗

開場中に和菓子の
お持ち帰り販売あります

※中止となる場合がありますのでご了承ください。

吹奏楽落語、再降臨。

落語と吹奏楽の奇想天外な組み合わせ。第2弾は、江戸落語の真髄「芝浜」。清水大輔の新曲を得て再び世に問う夢舞台。

芝浜とは

江戸落語屈指の人情噺として人気の演目。元は三遊亭圓朝(1839-1900)の作といわれるが、不確かである。戦後、3代目桂三木助が改作し、現在の形となった。クライマックスが大晦日のため、年末に演じられることも多い。

芝浜あらすじ

勝五郎はほんとは腕のいい魚屋だが、酒ばかり飲んで失敗続き。おまけに大の怠け者。この日の朝も、女房に無理やり起こされ、仕事に行くと、なんと芝の浜で大金(50両)の入った革財布を拾って帰る。これで当分遊んで暮らせると思勝五郎は大喜び。友達を集めてどんちゃん騒ぎの大盤振る舞いの挙げ句、寝てしまう。しかし、翌朝、目が覚めた勝五郎は、女房にとんでもない事実を知らされるのだった…。



落語 桂 九雀

昭和35年広島市生まれ。2歳から12歳まで名古屋市を中心に愛知県内で過ごす。名古屋市立有松小学校(緑区)を卒業後、大阪府箕面市へ移住。高校卒業の翌日の昭和54年3月1日、故桂枝雀師に入門。マイクロフォンを使う必要のない会場で、生の声・生の三味線・生の鳴物による落語会の開催に力を入れている。上方落語独特の演出「ハメモノ」を、和楽器以外(ハーモニカ、バイオリン、リュート、中国琵琶、マンドリン)で演奏する新作落語も多数。上方落語の長編「地獄八景」はマリンバ入りで上演する。オーケストラやフルートアンサンブルと共演した「ピーターと狼」、吹奏楽伴奏で上演したオペレッタ「メリーウィドー」は、どちらも落語形式で演じられた。平成25年、吹奏楽団・セントシンディアンサンプルと創作した吹奏楽落語「新出意本志臣蔵」は、各地で再演を重ねる代表演目となった。(平成29年度に西文化小劇場でも上演)少年期を名古屋で過ごした縁から、西文化小劇場での「おねうち花の木寄席」、円頓寺Les Piliers(えんどうじ レピリエ・西区那古野)での「名古屋十二夜」、町並み保存地区有松の古民家「寿限無茶屋」での落語会、しだみ古墳群ミュージアム(守山区志段味)での「しだみゆ一寄席」など、名古屋での落語会も積極的に開催している。



吹奏楽 セントシンディアンサンプル

1987年に結成された市民吹奏楽団。本拠地は奈良県・王寺町。最初は大学生ばかりの10数名から出発し、最近では10代から50代までの60名前後で活動中。「聴く人を楽しませたい!」というシンプルなコンセプトのもと、従来の吹奏楽の枠にとらわれない、ユニークかつエネルギー溢れる活動で知られている。よくあるマンネリ化した定期演奏会は実施せず、コンセプトあるオリジナルコンサートを時季未定で随時開催し多彩なアーティスト、芸能人と共演。特にジャズピアノの巨匠・山下洋輔氏とは5回にわたり共演を果たし、その著書の中でもシンディを紹介してくださっている。吹奏楽コンクールにも結成当初から挑戦し、県大会で金賞を33回受賞。奈良県代表として関西大会では銀賞13回・銅賞6回を受賞。

☆これまでの共演者

エリック宮城(Trp) 中川英二郎(Trb) 須川展也(Sax) トルヴェール・クワルテット
宮川彬良(指揮者) キダ・タロー レナード衛藤(和太鼓) など



指揮 福島 秀行

セントシンディアンサンプル代表・指揮者 奈良県吹奏楽連盟理事長
公共文化ホール館長を経て、現在、大阪・京都・奈良で6つの市民バンドやママさんブラスを実際に指導・指揮するかたわら、文化事業のプロデュースや司会、音楽ライター活動などをマルチにこなす。10年以上にわたり月刊「バンドジャーナル」(音楽之友社)においてメインライターをつとめ、2016年3月まで市民バンド運営応援講座「超御機嫌!吹奏楽ライフ。」を3年間連載した。現在「FMハイホー」(84.1kHz)にて毎週火曜日午後3時から桂九雀さんと「福島秀行の超御機嫌ラジオ!」を放送中。



「芝浜」作曲者 清水 大輔

1980年、神奈川県生まれ。2002年に昭和音楽大学短期大学部を卒業。作曲を藤原嘉文氏に師事。サクソフォーン奏者の福本信太郎氏のための書き下ろし作品をはじめ、航空自衛隊中部航空音楽隊、陸上自衛隊東部方面、中部方面、第2、第6、各音楽隊、海上自衛隊東京、横須賀、舞鶴、呉、佐世保、各音楽隊、ヤマハ吹奏楽団浜松、なにわ<オーケストラ>ウィンズ、大阪市音楽団(現 Osaka Shion Wind Orchestra)、日生劇場、シエナ・ウィンドオーケストラなど委嘱作品も多数。アメリカのシカゴで行われる『ミッドウェスト・クリニック』、WASBE(世界吹奏楽協会)、アメリカ、ヨーロッパで自作品が演奏され、近年ではアジア諸国で自作品演奏会の指揮、初演を行う。また今までに自作品集も5枚を数え全国発売されている。21世紀の吹奏楽“響宴”会員。昭和音楽大学非常勤講師。平成28年度第49回JBA下谷賞受賞。